2021年5月20日

各　位

当社がSustainable Innovation Lab へ第一弾メンバーとして参画する件

丸紅エネルギー株式会社

新規事業デザイン部

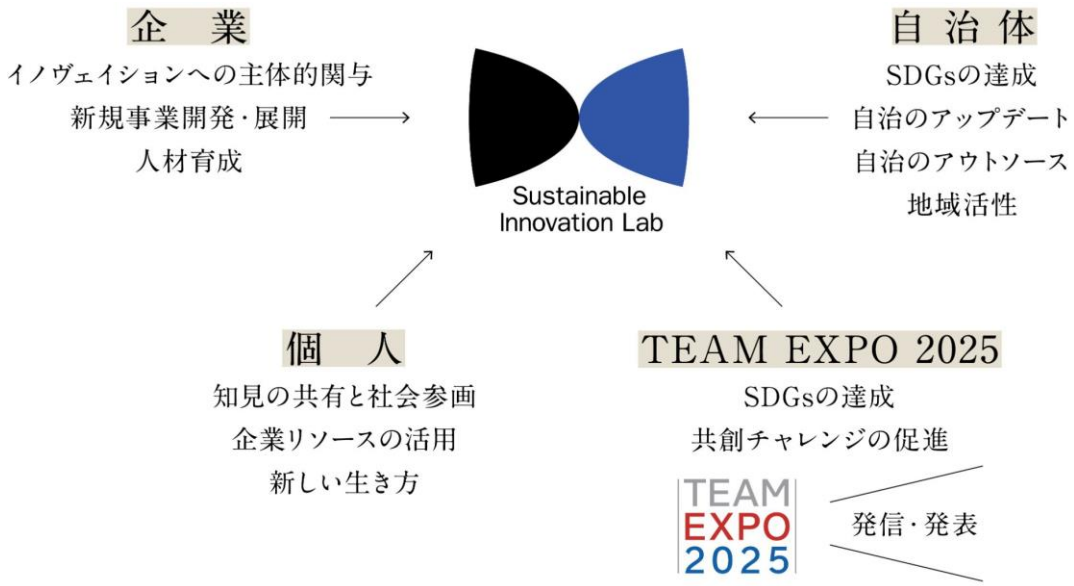
丸紅エネルギー株式会社（代表取締役社長：鳥居敬三／以下、「当社」）はNext Commons Lab（代表理事：林篤志／以下、「NCL」）が主宰する社会課題解決に向けたイノベーション・プラットフォームとなるSustainable Innovation Lab （以下、「SIL」）に参画致しますのでお知らせ申し上げます。

記

当社は2021年4月、昨年度まで経営企画部内で活動していた事業企画課を新規事業デザイン部として独立させました。昨今のカーボンニュートラルや環境対策・高齢化社会などの様々な社会課題への対応と企業成長を目指した活動を本格化させます。

その一環としてSILの地方自治体、企業、起業家など垣根を越えた新たなプラットフォームに参画し、そのネットワークや活動からの様々な視点や知見と当社のコアコンピテンスである国内販売ネットワークを掛け合わせて、地方創生とSDGs達成に繋がる実証実験や新規事業開発に取り組んでいきます。

Sustainable Innovation Lab（SIL）とは



第一弾参画メンバー

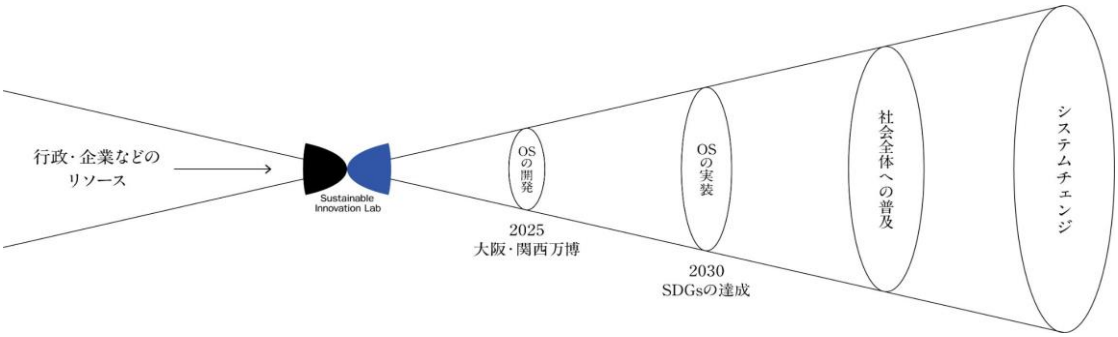
- **特別パートナー：三ッ輪ホールディングス株式会社**
- **社会実装パートナー：アミタホールディングス株式会社、特定非営利法人ETIC.**
- **パートナー：学校法人柿沼学園**
- **ベーシック会員：株式会社 ecommit、株式会社ストライダーズ、東邦レオ株式会社、有限会社藤川工務店、丸紅エネルギー株式会社、パナソニック株式会社アプライアンス社**
- **パブリック会員：福島県南相馬市、長野県小布施町、静岡県浜松市、三重県尾鷲市、大阪府池田市、兵庫県豊岡市、広島県福山市、奈良県奈良市**
- **アソシエイト会員：エクスポリス合同会社、株式会社小高ワーカーズベース、郡上エネルギー株式会社、Sanagy株式会社、スーパーゴリラパワー合同会社、ZENTECH、株式会社TART、合同会社TENG、不動産テック協会、株式会社eumo、合同会社ユブネ、株式会社Riparia、村上一馬、矢部佳宏、山口有里**

ウェブサイト：https://sustainablexlab.com/

背景・ビジョン

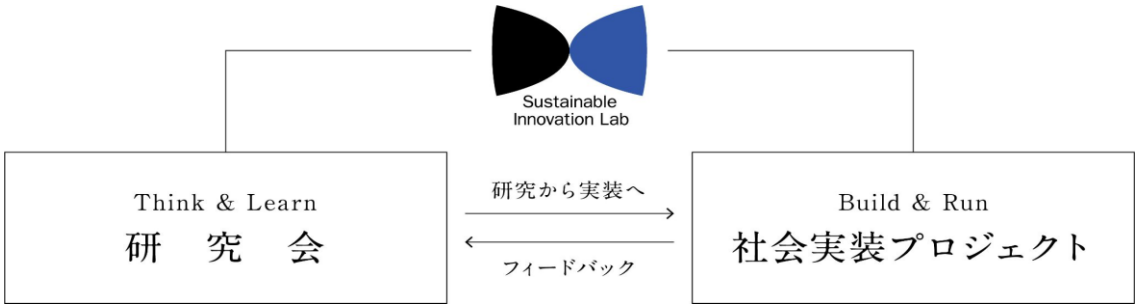
持続可能な開発目標（SDGs）が広く注目を集め、個人、企業、自治体等セクターに関わらず、社会的な責任が問われる時代になりました。社会課題に対して、真にサステナブル（持続可能）なイノヴェイションを画策し、適切なアクションを起こしていくためには、学び続けること、知見を共有すること、そして繋がりの中から共創を生むことが必要不可欠です。

SILは、セクターを超えた共創ネットワークを育みながら、持続可能な未来社会の実現に向けたソリューション開発に取り組みます。SDGsの達成を指標としながら、地域での実証実験や新規事業開発を促進し、ソリューションの実装、そして課題が生じる社会システムそのものの変革＝システムチェンジを目指します。



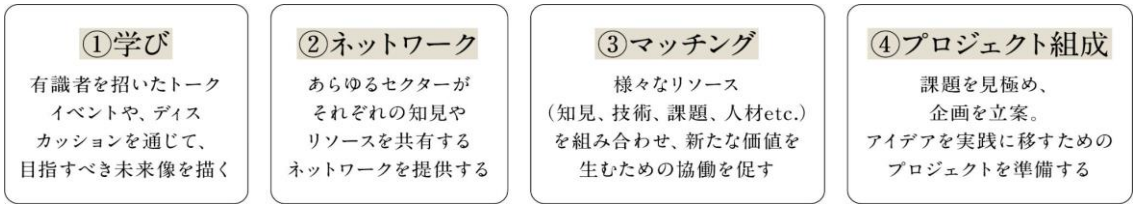
活動について

SILには、学びと共創を促すための『研究会』と、現場を持って新規事業の立ち上げなどを実践する『社会実装プロジェクト』という大きくふたつの活動領域があります。企業や自治体など主体者それぞれの課題とニーズに合わせて、適切な関わり方ができます。



研究会

メンバーシップ制のコンソーシアムです。主に［①学び②ネットワーク③マッチング④プロジェクト組成］のための活動を行っていきます。



＜研究会の主な活動＞

・専門家を招いての定期的な勉強会

・自主的なリサーチ/研究活動の奨励

・プロジェクト組成に関する個別相談会

・先進事例の視察ツアーやフィールドワーク

・全メンバーによる報告や共有のための全体会議

*学びや知見の深まりに応じて、活動を随時アップデートしていきます。

社会実装プロジェクト

SILでは、サステナブル・イノヴェイションの実践をプロジェクトとして組成し、その実施に向けたコーディネートやコンサルティングを行います。例えば、参画自治体をフィールドとして、参画企業のニーズと地域課題をマッチングし、課題解決のための実証実験～新規事業開発を目指すプロジェクトを立ち上げます。異なるセクターを繋ぎ、必要なリソースをコーディネートし、プロジェクトの現場を起こすことで、ソリューション開発と社会実装に向けた具体的なアクションをサポートします。

SILのフェロー

あるべき未来社会の姿やサステナブル・イノヴェイションについて、専門的な知見、視点、技術などをもたらすのがSILフェローです。テーマに基づき、今後、関わる専門家を増やしていきます。

- 秋吉浩気 / VUILD株式会社 代表取締役
- 上田 祐司 / 株式会社ガイアックス　代表執行役社長
- 大室悦賀 / 長野県立大学 グローバルマネージメント学部教授、ソーシャル・イノベーション創出センター長、京都市ソーシャルイノベーション研究所所長
- 小川さやか / 文化人類学者、立命館大学大学院先端総合学術研究科教授
- 高橋大就 / 一般社団法人「NoMAラボ」代表理事 、一般社団法人東の食の会 事務局代表、オイシックス・ラ・大地株式会社　グローバル担当専門役員
- 宮城治男 / NPO法人ETIC. 代表理事
- 柳沢正和 / 国際NGO ヒューマン・ライツ・ウォッチ国際理事、外資系金融機関勤務

※五十音順

運営について

SILは一般社団法人Next Commons Lab（NCL）が主催し、参画企業やSILフェローと協働しながら運営します。またNCLには、ローカルベンチャー事業による拠点が全国に11箇所、株式会社Next Commons Labの株主ネットワークが37箇所（2021年5月時点）あり、こうした既存のつながりも生かしながら、参画自治体や企業との共創を促していきます。

事務局

一般社団法人Next Commons Lab

日本各地で地域の課題や資源と起業家とをマッチングし事業創出を支援するローカルベンチャー事業を行っています。また自治体や企業など横断的に様々なセクターと協働しながら社会課題への取り組みをコーディネートし、持続可能な社会へと導くためのコンサルティングにも取り組んでいます。

大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」プログラムについて

2025年に開催される大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会」をテーマに、持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献やSociety5.0の実現を目指しています。そのテーマ実践として、多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会を共に創り上げていくことを目指す取り組

み「TEAM EXPO 2025」プログラムを2020年10月より開始し、参画を呼び掛けています。一般社団法人Next Commons Labは「TEAM EXPO 2025」プログラム / 共創パートナーです。

URL: https://team.expo2025.or.jp/

Next Commons Lab

名称: 一般社団法人Next Commons Lab

所在地: 150-0001 東京都渋谷区神宮前4-26-28 原宿V2ビル 2F

代表者: 代表理事 林 篤志

丸紅エネルギー株式会社

担当部署：新規事業デザイン部［担当：今野］

所在地：〒101-8322 東京都千代田区神田駿河台2丁目2番地（御茶ノ水杏雲ビル10階）

電話：03-3293-4072 (直通)

以上